

■殺菌剤：農業用

クプロシールド®

成分 塩基性硫酸銅……26.9%
(銅……14.8%)

物理的・化学的性状 淡青緑色水和性粘稠懸濁液体

登録番号 : 24001
 毒性 : —
 消防法 : —
 有効年限 : 3年

包装 : 500ml×20 2ℓ×8

◆特 長

- 有効成分を微細化した付着性の良いフロアブル製剤です。
- 作物への汚れが少なく、均一に作物表面を覆います。
- 軟腐病や疫病等の各種病害に予防的に効果を発揮します。

◆適用と使用方法

| 作物名 | 適用病害虫名 | 希釈倍数 | 使用液量 | 使用時期 | 本剤の使用回数 | 使用方法 | 銅を含む農薬の総使用回数 |
|-----------------|--------|------------------|------------------|--------------|------------------|------|--------------|
| かんきつ キウイフルーツ | かいよう病 | 1,000～2,000倍 | 200～700ℓ ／10a | — | — | 散布 | — |
| | | 1,000倍 | | | | | |
| ばれいしょ | 軟腐病 | 1,000～2,000倍 | 100～300ℓ ／10a | | | | |
| | 疫病 | | | | | | |
| だ い ず | 紫斑病 | 1,000倍 | | | | | |
| | 軟腐病 | 1,000～1,500倍 | | | | | |
| 野 菜 類 | べと病 | 1,000～2,000倍 | | | | | |
| | 斑点細菌病 | | | | | | |
| ト マ ト ミニトマト | 疫病 | 1,000倍 | | | | | |
| キャベツ | 黒腐病 | | | | | | |
| | にんじん | | | | | | |
| たまねぎ 紫たまねぎ | りん片腐敗病 | | | | | | |
| ブロッコリー | 黒斑細菌病 | | | 1,000～2,000倍 | | | |
| アスパラガス | 斑点病 | | | 1,000倍 | 100～400ℓ ／10a | | |
| | 茎枯病 | 100～300ℓ ／10a | | | | | |
| こんにゃく | 葉枯病 | | | | | | |
| | 腐敗病 | | | | | | |
| てんさい | 褐斑病 | | | | | | |
| 茶 | 赤焼病 | 500倍 | 200～400ℓ ／10a | | 摘採3日前 まで | | |
| | もち病 | | | | | | |
| | 網もち病 | | | | | | |
| | 炭疽病 | | | | | | |

ラベルをよく読み、ラベルの記載以外には使用しないで下さい。

◆注意事項

- (1) 本剤は貯蔵中に分離することがあるので、使用に際しては容器をよく振ること。
- (2) 石灰硫黄合剤等アルカリ性薬剤との混用はさけること。
- (3) キャベツ、はくさい、レタス等結球作物を対象に使用する場合は、結球期以降の散布は薬害を生じるおそれがあるので、結球初期までに散布すること。
- (4) きゅうり等ウリ科作物に使用する場合は、次の事項に十分注意すること。
 - ① 幼苗期は薬害を生じやすいので、生育中期以降に散布すること。
 - ② 高温時での散布は薬害が生じやすく、症状が強くなることがあるので散布はさけること。
- (5) ブロッコリーに使用する場合は花蕾形成期以降の散布は花蕾に薬害を生じるおそれがあるので、花蕾形成期までに使用すること。
- (6) かんぎつに使用する場合は、薬害（スターメラノーズ）を生じるおそれがあるので、炭酸カルシウム水和剤を加用すること。特に果実の着生時期および雑柑への散布では厳守すること。
- (7) キウイフルーツに使用する場合は、薬害を生じるおそれがあるので、次の事項に十分注意すること。
 - ① 発芽期以降の散布には炭酸カルシウム水和剤を加用すること。
 - ② 過度の連用はさけること。
 - ③ 品種によっては薬害を生じることがあるので事前に確認してから使用すること。
- (8) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害や作物への汚れの有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

◆安全使用上の注意

本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗すること。

◆魚毒性

使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使い切ることを。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。